

# ハーモニー



(創刊号)

発行：下田市役所市長公室 編集協力：男女共同参画社会の実現を目指す市民懇話会  
電話 22 - 2212 FAX22 - 3910 メール koushitsu@city.shimoda.shizuoka.jp

## < 男女共同参画情報紙の創刊にあたって >

平成 16 年 3 月に策定した、下田市男女共同参画推進プラン『新たなるパートナーシップ創造計画』では、今後、男女共同参画に関するいろいろな事業を進めていくための重点方針として、

1. 男女共同参画を広く市民の皆さんに知ってもらうこと
2. 参画意欲のある女性が当たり前に参加できる環境をつくること
3. 女性が参画するための障害があることを理解し、その解消を図ること

の 3 つを掲げています。下田市における男女共同参画社会の実現に向けた動きを作り出すためには、市民の皆さん一人ひとりの意識改革が重要になります。

しかし残念ながら、下田市においては、「男女共同参画」という分野・用語について、まだまだ十分に知られていない状況にあります。そのような状況の中で、まず大切になるのは、「男女共同参画」の内容を少しでも多くの皆さんにご理解いただくこと、身近な問題に『気づいて』いただくことであると思います。



そこで今回、「男女共同参画」を身近な問題として感じていただけるよう、男女共同参画に関するいろいろな情報を広く市民の皆さんにお届けする、「男女共同参画情報誌～ハーモニー～」を発行することといたしました。



「男女共同参画」と聞くと、“なんか難しそう”“私には関係ない”と他人事と思いがちですが、家事、育児、介護、雇用、まちづくりなど、実はとても身近なところで私たちに関係しています。

この通信は、そんな身近なことから男女共同参画を意識していただくことができる情報を、たくさん掲載していきたいと思ひます。

## 男女共同参画の推進に取り組む団体紹介

このコーナーでは、男女共同参画の推進に取り組む団体を紹介します。  
第1回目は、「男女懇話会」の伊澤代表にお話を伺いました。



### = 男女共同参画社会の実現を目指す市民懇話会（略称：男女懇話会） =

#### Q1: この懇話会はいつ、どんなきっかけでできたのですか？

『平成16年4月、私たち男女懇話会は生まれました。下田市男女共同参画基本計画に携わった策定委員会のメンバーの多くが、「計画の策定だけで終わらせることなく、この計画が広く市民に理解され、真の男女共同参画社会が実現できるよう、市民活動として推進していきたいね。」という熱い思いを持ったことが始まりでした。』

#### Q2: みなさんの考える男女共同参画ってどんな社会ですか？

『「男女共同参画社会って、なあに？」と聞かれることがよくあります。これはお互いに男女の人権を尊重しあい、男性も女性もその個性や能力を發揮し、やりたいことを自分で選択し、そして一人の人間として責任を果たしていく社会のことだと思っています。「下田の人は、男性も女性も自立して生き生きと暮らしているね。」「下田は、子育ても高齢者への支援もみんなで行っているね。」こんな声があちこちから聞かれることを願っています。』

#### Q3: これまで、どのような活動をされてきましたか？

『月1回の例会を開き様々な活動を行っています。昨年は、子育て支援をテーマとして児童虐待の学習会・先進地の視察・託児サービスの導入の要請・託児ボランティア養成講座実施のお願い等の活動をしました。また、各種の講座や講演会に参加したり、女性の積極的登用を進める企業の関係者をお呼びしての学習会などの活動を行ってきました。』

#### Q4: これからの抱負をお願いします。

『これからも男女共同参画社会の実現に向けて、着実に一步一步活動を進めていきたいと思っています。一人でも多くの仲間と語り合い、学習し合い、輪を広げていくことを願っています。ぜひ皆様の男女懇話会活動へのご参加をお待ちしています。』



団体名：男女共同参画社会の実現を目指す市民懇話会  
略して、「男女懇話会」

代表：伊澤英子 会員数：16名

活動：毎月1回定例会、テーマを決めた研修会・勉強会  
団体に関すること、活動への参加等のお問合せは、  
市役所市長公室 22-2212まで

## 男女共同参画と子育て支援

仕事や地域活動、社会活動への女性の進出が進む中で、今まで女性に偏っていた家事、育児、子育てなどとの両立が女性への大きな負担となっています。この両立が女性の仕事など社会活動への参加を躊躇させたり、諦めてしまうことの要因とされています。さらに、こうした状況が女性の結婚や出産へのマイナス志向を招き、晩婚化や未婚者の増加、少子化などの遠因となっているとも言われています。意欲ある女性の社会参加を促進するためには、子育て支援は欠くことのできないものなのです。



### 男女共同参画 ちょこっとインタビュー

今回は子育て支援活動に取り組んでいるグループ「遊・VIVA! ネットワーク」についてお話を伺いました。

あそびば  
「遊・VIVA! ネットワーク」代表・小川志津子さん

#### 「あったらいいな、下田にこんなところ」…

こんな願いを実現しようと子どもや親子連れの「居場所づくり」活動を続けています。平成15年、市内3つの子育て支援サークルが協力してスタート。“自分の責任において自由に遊び・学ぶ”というルールを基本に、児童と保護者の方々がいつでも無料で自由に出入りできる安全な居場所＝「児童館的施設」の開設を目指して、一日児童館体験イベントを開催しています。

#### これまでに6回行い、入場者は延べ1900人…

当初は1回だけのつもりでしたが、参加した人からの「楽しかったよ」という声と思いがけない

**「魅力と可能性」**の発見が継続する力になりました。

- ・中高生からお年寄りまで様々な世代が集まるので、それが自然と異年齢の異文化交流になる
- ・子育て中のお母さんたちが知り合う場になる
- ・これから子どもを生み、育てるかもしれない人たちには「子ども」を知る機会になる
- ・中高生が、運営のお手伝いがキッカケでその後もボランティアにきてくれるようになる

#### 「子供のため」と言いながら…

「遊・VIVA!」は子育て支援であると共に、少子化対策、高齢者対策にもなり、ボランティア入門的な役割も担いつつあります。私たちスタッフ(もちろんボランティアです)はそんな「遊・VIVA!」に関わるのが楽しく、今は単なるイベントですが、いずれは各地域に常設していけたらいい、と願っています。

皆さん、遊びに来てね!



#### 「遊・VIVA!」スペシャル開催!

いつ・・・2月4日(土)10時開場  
どこで・・・下田小学校体育館  
なにをする・・・カムジー先生&ピアリンの  
第1部「早起きとっても大事コンサート」  
第2部「おもしろ音楽教室」  
入場券が必要になります。

## 男の料理教室が開催されました ~なんと包丁が初めての方も~

昨年 11 月 10 日、下田市女性の会主催による男女共同参画事業「男の料理教室」が開催されました。教室では、献立として、生姜ご飯、ぶり大根、フライドエッグ、大根和風サラダ、具だくさんの味噌汁の五品に挑戦しました。

参加者の皆さんは、慣れない手つきで下ごしらえから味付け、盛り付けまでを『体験(?)』しました。この料理教室に参加された男性 16 名のうち 8 名は料理どころか、包丁をまったく握ったことが無かったそうです。まだまだ料理は女性の仕事なのでしょうか？



### (参加者の感想)

「『女性 22 年、男性 5 年』これは連れ合いを亡くしてから一人で生きてく年数の平均だそうです。ある時男性も包丁を握らなくてはならなくなるかもしれません。そんな時どうするのでしょうか。万が一の時、困らないように今から準備しておくことが大切だと思いました。」

### ドメスティック・バイオレンス(DV) ひとりで悩まないでください

女性を取り巻く暴力の相談窓口です。  
私たちがサポートします。どうぞ、お電話ください。

#### 県女性相談センター(配偶者暴力相談支援センター)

054 - 286 - 9217(9:00~20:00)

#### 県健康福祉センター(女性相談員駐在)

0558 - 22 - 9217(9:00~17:00)

#### 県男女共同参画センターあざれあ

0558 - 23 - 7879(9:00~16:00)

緊急のときは迷わず警察110番へ

### ほっ とコーヒーブレイク

学校行事、出席はどうしていつも私？

あなたも私も同じ正社員

なのに俺は仕事！

私の仕事はどうでもいいのかな？

あなたもたまには学校へ行ってみなさいよ

子供の頑張る姿を見ると元気になるよ

日常生活で感じる「ちょっとおかしいでしょ？」を募集中。担当：市役所市長公室まで

### 女性のチャレンジサイトの開設について

静岡県では、キャリアアップや社会貢献、就職、起業など女性のチャレンジを支援するホームページを開設しています。

ホームページ URL <http://azarea.pref.shizuoka.jp/>

問い合わせ 静岡県生活文化部男女共同参画室 054-221-3122



<編集後記> 基本計画の検討の時から目標としてきた情報紙の発行が実現しました。少しでも多くの人に「男女共同参画」を理解してもらい、活動が広がってくれることを期待しています。でも、社会活動に参画する女性！家事や育児をする男性！が随分と増えています。世の中、少しずつ変わってきていますね。

